

むつ病院10年勤務↓学費免除

八学大新キャンパスで貸与制度



約30人が参加したむつ下北キャンパスの学生募集説明会

八戸学院大学、むつ市、一部事務組合下北医療センターは28日、来年4月に同市小川町1丁目に開設する「むつ下北キャンパス」の学生募集説明会を市役所で開いた。入学金と学費の全額免除が可能となる新たな修学資金貸与制度などを説明し、積極的な利用、受験を呼びかけた。

同キャンパスは看護師や保健師などを目指す人材の育成に特化。むつ総合病院(同市)を運営する同センターが、今後の看護師確保

を見据えて新制度を創設した。市によると、入学金と4年間の学費は合わせて640万円程度。これを貸与した上で、利用者が卒業後に免許を取得し、同病院に10年間勤務した場合は返済が全額免除される。現在の居住地は問わない。

制度利用を希望する受験生は10月28日までに申し込みが必要。制度利用者の枠は設けない。月額5万円、同10万円を貸与する現行の修学資金制度も維持する。

説明会には同大学の水野眞佐夫学長、同センター管理者の山本知也むつ市長をはじめ担当者が出席し、高校生や保護者ら約30人に新たな制度や試験区分などについて説明した。

同キャンパスを受験する予定の野辺地西高校3年・佐藤優芽さん「横浜町在住は取材に対し「もともと看護師を目指していて、自分の身近な地域で働きたいと思っていたので入学への気持ちが強くなった」と話した。

(熊谷慎吉)